

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↑ 2	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	→ 67	68	ヘルパンギーナ	↓ 4	13
咽頭結膜熱	↓ 5	7	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↓ 58	62
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↓ 70	80	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 304	225	流行性角結膜炎 (はやり目)	→ 9	8
水痘	↑ 64	45	細菌性髄膜炎	↑ 2	0
手足口病	↓ 3	17	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	→ 3	4	マイコプラズマ肺炎	↑ 9	3
突発性発しん	↑ 30	28	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い
感染症

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎
- RSウイルス感染症

- 感染性胃腸炎は、報告数 304件(前週報告数 225件)と増加。
地区別では、有明、山鹿、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の49件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 70件(前週報告数 80件)と減少。
地区別では、菊池、宇城、熊本に多く報告がみられる。
年齢別では、5歳の17件を最多に幅広い年齢層からの報告である。
- RSウイルス感染症は、報告数 67件(前週報告数 68件)と前週とほぼ同数。
地区別では、八代、菊池、天草に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の30件を最多に、3歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性連鎖 球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所	0	29	2	30	80	30	0	2	11	0	0	30		8	2		1	
山鹿保健所	0	0	0	0	23	2	0	0	1	0	0	0	*	*				
菊池保健所	0	9	2	14	12	19	0	0	5	0	0	9		1				
阿蘇保健所	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	1	2	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	12	0	5	39	0	0	0	1	0	0	2						
水俣保健所	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	*	*				
人吉保健所	0	2	0	4	28	0	0	0	1	0	0	0	*	*				4
有明保健所	0	0	0	3	63	6	0	0	2	0	0	12						3
宇城保健所	0	5	0	7	30	4	0	1	2	0	0	2						
天草保健所	0	8	1	5	13	3	3	0	3	0	4	3						1
計	2	67	5	70	304	64	3	3	30	0	4	58	0	9	2	0	9	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	2														1						1
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	67	8	19	30	6	4															
咽頭結膜熱	5			2		2			1												
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	70		1	2	1	8	9	17	10	8	7	1	3	2	1						
感染性胃腸炎	304	1	24	49	38	23	25	29	14	16	10	15	31	6	23						
水痘	64		4	15	13	10	11	3	2	3		1	2								
手足口病	3			1	1			1													
伝染性紅斑	3							1					1								
突発性発しん	30	1	17	11				1													
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	4		1		1		1			1											
流行性耳下腺炎	58			8	6	6	11	9	3	6	4	1	4								
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	9						1					1				2	1	1	1	1	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	2	1		1																	
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	9		3	3	1	1															
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

ありませんでした。

感染性胃腸炎



今週の感染性胃腸炎の報告数は、先週より79件増え304件でした。感染性胃腸炎は、例年冬場に増加し、12月にピークを迎えます。今年は、例年より増加するのが遅いですが、これから特に注意が必要な感染症の一つです。感染性胃腸炎の原因には様々なウイルス、細菌などがあります。症状は、原因となる病原体や患者の状態により異なりますが、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などがあります。子どもの場合、元気がなかったり、不機嫌な状態が続く時はすぐに受診してください。家庭では脱水を起こさないよう、水分補給に努めましょう。これからの季節はウイルスを原因とするものが増加します。中でも特にノロウイルスの感染力はきわめて強く、医療機関や社会福祉施設、学校など集団生活の場で流行を起こすことがあります。家庭においても注意が必要です。

～ノロウイルスを予防する4つのポイント～

- ① 生ものを食べるのを極力避け、85℃で1分以上加熱調理しましょう。
- ② 調理の前後、トイレやおむつ交換の後などは、必ずせっけんを手を洗きましょう。
- ③ 調理器具の使用後は、ときどき亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)に浸して殺菌しましょう。
- ④ 嘔吐物や便を処理するときは、マスクと手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課